

こころの便り

第273号
令和4年12月

〒679-1434
兵庫県たつの市新宮町大屋六六八十二
株式会社新宮運送グループ
代表/木南 一志
kminami@shingu.co.jp
電話07991-7551212



新宮運送ホームページ

サポーター

日本を美しくする会（掃除に学ぶ会）が始まってから30年となる。鍵山相談役が理想の会社を作りたいとたった一人で掃除を始めてから数えると、60年になるらしい。掃除の文化を次の世代に語り継ぐために記念誌を発行されると聞いて、駄文ながら書かせていただいた。師と仰ぐ人と巡り会えたおかげで自分の位置が分かり、目指すべき方向がハッキリと見えてくる。それは、降りていくという生き方である。目には見えないところで支えられていると、心の中では見えないと思えるようになる。

サッカーワールドカップのドイツ戦に勝利したあと、サポーターの皆さんが清掃活動をしたという報道があった。それも海外メディアからの反響である。そのうえに、国際サッカー連盟（FIFA）の公式ツイッターが選手たちの更衣室を写真付きで公表した。タオルやシャツなどが綺麗に整頓されて床にはごみひとつない。ありがとう。というメッセージと折り紙で折られたツルが何羽かテーブルにおいてある。ピカピカだ。と表現されている。

ここまで来たんだなあ……という感慨があった。私がやったわけではないし、掃除に学ぶ会のメンバーがやったわけでもない。

しかし、日本人として当たり前前に実行することを全世界に知らしめたことになる。

掃除は、世界平和の礎である。

勝負は厳しい現実の世界ゆえに、勝つても負けても誰のせいにもできないし、結果の事実を受け容れていかねばならない。どんなに辛くとも、飛び跳ねるほど嬉しくとも、試合が終われば心をこめて掃除をして感謝するという行動は、勝負を越えた友情を育むはずである。お互いががんばったという称えあうものに変わっていくのだ。

掃除をしていくと美しい場が生まれて、相手を受け止める力が出てくる。目には見えないものが伝わっていく。

今回のニュースで、サポーターが支えている選手との同じ価値観が、「和の国、日本」として伝わったのではないか。千四百年の時空を超えて聖徳太子さまもお喜びだろうと私は思えたのだ。

人間は支えあい、励ましあいながら厳しい現実の坂を越えていく。一步一步、自らの足を踏み出していくしかない。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拝

NPO法人 愛ランド様の協力で障害を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせていたただいております。

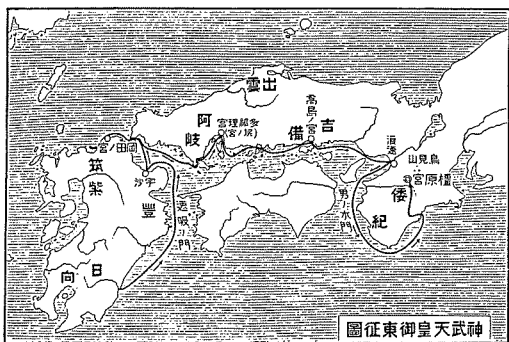
尋常小學國史 上巻

第一 天照大神 ③

大神の神器を尊に授けたまひし時、此の鏡をわれと思ひて、つねにあがめたまつれ。と仰せられたり。されば此の御鏡を御神體として大神をまつれる伊勢の皇大神宮は、御代々の天皇及び國民の深くうやまひたてまつれる御宮なり。

第二 神武天皇 ①

瓊瓊杵尊より御二代をへて、神武天皇の御時にいたるまでは、御代々日向にましく、てわが國ををさめたまひしが、東の方には、なほわるものどもはひこりて、甚ださわがしかりき。天皇は之を平けて、人民を安んぜんとおぼしめし、舟いくさをひきゐて日向を發し、大和に向ひたまひ、多くの年月をへて浪速につきたまへり。天皇河内より大和に入らんとしたまひしに、わるものどものかしら長髓彦といふもの勢強く、御軍をふせぎて入れたてまつらず、よりて天皇道をかへて、紀伊より大和に進まんとしたまふ。其のあたりは、山高く谷深く道なきところも多かりしが、天皇は之をものともしたまはず、飛行く鳥をしるべとし、兵士をばげまし、道をひらかせて、つひに大和に入りたまへり。



神武天皇御征東圖